

群マネの実施方針(奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村、奈良県)

[群マネモデル地域としてのポイント]

「橋梁メンテナンスの効率化、技術の補完を目指した地域連携による包括的民間委託」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路						
河川						
公園						
下水道						
その他						

- R7年度(宇陀市、曽爾村、御杖村の3市村)
- R8年度(宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村の4市村)

* 上記の補足

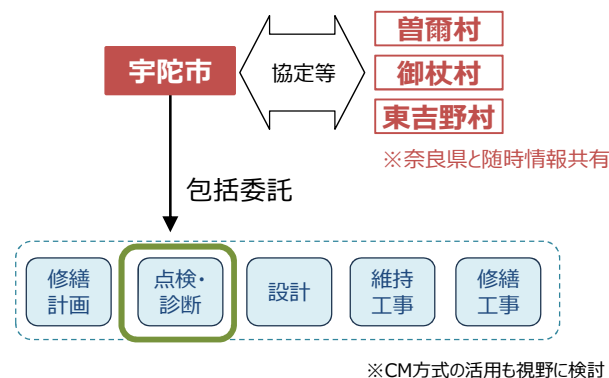
<インフラ分野> 道路 : 橋梁

- ・R7年度は小規模連携を行い試行をする。
- ・R8年度以降は使用感を確かめた後に更なる連携の幅を広くしていく。
- ・修繕工事の組入れを検討するにあたり、地元建設業の技術力維持に配慮。
- ・1市3村による点検・診断、設計、工事を含めた包括業務の共同発注の可能性を検討(CM方式の活用も視野に想定)。

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化: 有(目標5年)・無
- インセンティブの設計: 有・無
- その他特筆事項(地元建設会社の技術の向上)

(2) 自治体の束



- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有・無 ※必要に応じ適用の可能性あり
- 県技術センターとの連携: 有・無

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒宇陀・東吉野土木協議会を活用して、奈良県を含め、意見交換会や研修を実施する。
定期的な報告調整を含む勉強会を実施する。
連携による人の交流を通じて、身近な相談先など関係を醸成する。

② データ連携の具体メニュー

⇒データの連携・一元管理(DX)を活用することで、様々な事例等、データを蓄積・応用することが出来る。